

平成 14 年 8 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社 精工 技 研
 代 表 者 名 代表取締役社長 上野昌利
 (登 録 銘 柄 コード番号 6834)
 問 い 合 わ せ 先 経 営 企 画 室 齋藤祐司
 TEL 047 - 388 - 6401

平成 15 年 3 月 期 (連 結 ・ 単 独) 第 1 四 半 期 の 事 業 概 況 の お 知 ら せ

当社の平成 15 年 3 月 期 第 1 四 半 期 (平成 14 年 4 月 1 日 から平成 14 年 6 月 30 日 まで) に お け る 事 業 概 況 に つ い て、お 知 ら せ い た し ま す。

1 . 平成 15 年 3 月 期 第 1 四 半 期 の 業 績

経営成績 (連結)

| | 当 期 第 1 四 半 期 | | 前 期 第 1 四 半 期 | | 前 年 同 期 比 |
|-----------|---------------|-------|---------------|-------|-----------|
| | 金 額 | 売 上 比 | 金 額 | 売 上 比 | |
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % |
| 売 上 高 | 1,213 | 100.0 | 1,454 | 100.0 | 83.4 |
| 営 業 利 益 | 253 | 20.9 | 309 | 21.3 | 82.0 |
| 経 常 利 益 | 198 | 16.3 | 330 | 22.7 | 60.1 |
| 当 期 純 利 益 | 198 | 16.4 | 166 | 11.4 | 119.6 |

経営成績 (単独)

| | 当 期 第 1 四 半 期 | | 前 期 第 1 四 半 期 | | 前 年 同 期 比 |
|-----------|---------------|-------|---------------|-------|-----------|
| | 金 額 | 売 上 比 | 金 額 | 売 上 比 | |
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % |
| 売 上 高 | 1,183 | 100.0 | 1,469 | 100.0 | 80.6 |
| 営 業 利 益 | 273 | 23.1 | 351 | 23.9 | 78.0 |
| 経 常 利 益 | 220 | 18.6 | 371 | 25.3 | 59.3 |
| 当 期 純 利 益 | 206 | 17.5 | 207 | 14.1 | 99.3 |

(注) 1 . 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2 . 上記数値は監査法人による監査は受けておりません。

2. 第1四半期業績の概況

(1) 事業の概況

第1四半期（平成14年4月1日から平成14年6月30日まで）のわが国の景気動向は、国内需要が依然として厳しい中、企業収益や業況感は改善に向かい、全体としてはほぼ下げ止まった状況にあります。

企業の設備投資は依然減少傾向にありますが、在庫調整が概ね終了していることを受け、鋳工業生産には持ち直しの動きが見られます。一方で企業の過剰雇用や過剰債務の調整圧力は根強く、完全失業率は高水準で推移し、賃金の減少傾向も続くなど、わが国の雇用・所得環境は依然として厳しく、持続的な物価の下落傾向と相まって緩やかなデフレ状態にあると言えます。

さらに、世界経済に目を向けると、米国においては一部大手企業の不正会計処理問題等による株価急落や、企業業績の回復にかげりが見られるなど、景気の先行き不透明感が強まり、今後も予断を許さない状況にあります。

このような状況下で、当社の第1四半期（連結）の業績は、売上高1,213百万円（前年同期比83.4%）、営業利益253百万円（前年同期比82.0%）、経常利益198百万円（前年同期比60.1%）、当期純利益198百万円（前年同期比119.6%）となりました。

(2) 部門別の概況

各事業部門別の第1四半期の概況は以下のとおりであります。

光製品部門

昨年来の設備投資抑制により光通信機器業界は世界的に需要が停滞し、一部に在庫調整の一巡の兆し認められるものの、本格的な回復の糸口は未だに掴めておりません。企業業績の悪化に加え、米国大手通信会社の不正会計処理等を背景とした株価の下落は、光通信業界の回復時期を一層不透明なものにしています。製品単価は下げ止まったものの、発注量の縮小傾向は変わらず、光製品部門の売上高は250百万円（前年同期比23.7%）、営業損失は134百万円となりました。

精機部門

一方、精機部門においては、DVD-ROMの需要が顕在化し、DVD用金型の売上高が大幅に増加（対前年四半期比349.0%）しました。さらに、昨年設立した海外拠点における金型メンテナンス営業も徐々に売上に貢献しており、精機部門における売上高は1,018百万円（前年同期比182.0%）、営業利益は388百万円となりました。

部門別業績（連結）

（単位：百万円未満切捨）

| | | 当期第1四半期 | | 前期第1四半期 | | 前年同期比 |
|-------|------------|---------|-------|---------|-------|-------|
| | | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | |
| 光製品部門 | 光部品 | 128 | 10.2% | 801 | 49.5% | 16.0% |
| | 光部品製造機器 | 121 | 9.6 | 257 | 15.9 | 47.1 |
| | 売上高 | 250 | 19.7 | 1,059 | 65.4 | 23.7 |
| | 営業損失 | 134 | | | | |
| 精機部門 | 外部売上高 | 962 | 75.9 | 394 | 24.4 | 244.1 |
| | メンテナンス間売上高 | 55 | 4.4 | 165 | 10.2 | 33.8 |
| | 売上高 | 1,018 | 80.3 | 559 | 34.6 | 182.0 |
| | 営業利益 | 388 | | | | |

（注）1. 前期第1四半期は部門別営業利益を算出しておりませんので、営業利益及び前年同期比は記載しておりません。

2. 上記数値はセグメント情報を開示した場合の数値に拠っております。

3. 平成 15 年 3 月期業績予想（平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日）

平成 15 年 3 月期の業績予想は、前回発表時（平成 14 年 5 月 17 日発表）と修正ありません。

連結業績予想

| | 売 上 高 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 |
|-------|-------|---------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 中 間 期 | 1,983 | 32 | 116 |
| 通 期 | 3,877 | 21 | 78 |

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 8 円 45 銭

単独業績予想

| | 売 上 高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり年間配当金 | | |
|-------|-------|------|-------|-------------|------|------|
| | | | | 中 間 | 期 末 | |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 中 間 期 | 1,916 | 29 | 106 | 0 | | |
| 通 期 | 3,820 | 8 | 94 | | 30 0 | 30 0 |

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 10 円 9 銭

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります

以 上